

Four Elements Digest

小菅優

ピアノ・リサイタル

Yu Kosuge Piano Recital

〈program〉

フランク:プレリュード、コラールとフーガ M.21 短調

武満 徹:雨の樹 素描 I

ドビュッシー:前奏曲集 第1巻から

「野を渡る風」「西風を見たもの」「沈める寺」

前奏曲集 第2巻から「霧」「花火」

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第8番 ハ短調 op.13「悲愴」

シューベルト:幻想曲 ハ長調 D760「さすらい人」

2022年

1月8日(土) 15:00開演
(14:15開場)

青山音楽記念館 バロックザール

入場料:一般 4,000円 学生 1,500円(全席指定・税込)

※学生席には席数の制限があります。

2021年9月18日(土) 10:00より
バロックザール・オンラインチケット先行販売



2021年9月26日(日) 10:00より窓口販売

オンライン購入には会員登録が必要です。

お支払いはクレジットカード決済、コンビニ支払い、ホール窓口支払いをお選びいただけます。

セブンイレブンでチケットをお受け取りいただけます(手数料無料)。

【お問い合わせ】青山音楽記念館 バロックザール ☎075-393-0011

受付 9:30~18:00(月・火 休館)

年末年始休館日:2021年12月30日(木)~2022年1月5日(水)

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※一度のお申込みにつき購入いただけるチケット枚数は4枚までとさせていただきます。

※お買い求めいただいたチケットのキャンセル・変更等は致しかねます。予めご了承ください。

※学生席には限りがあります。

※会場での録音・録画・写真撮影は固くお断りします。

新型コロナウイルス感染予防対策にご協力ください。

バロックザールのWEBサイトをご確認の上、ご来場ください。

■ 政府方針により、入場制限を行う場合がございます。

■ 平熱より高い発熱や感染が疑われる体調不良により、

当日のご来場をお控え頂く場合は、後日、払い戻しを行います。

■ 館内では常時マスクの着用をお願い致します。

■ 今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、

やむを得ず公演が中止となる場合がございます。

主催 公益財団法人青山音楽財団

30TH
ANNIVERSARY
2020年、青山音楽財団は
設立30周年を迎えました

©Marco Borggreve

A
AOYAMA
MUSIC FOUNDATION
KYOTO, SINCE 1990

揺るぎない解釈と迫真の演奏——。
小菅優が4年間にわたって取り組んだ
フォー・エレメンツ・シリーズから
ダイジェストで聴かせる。



公演に寄せて

今回のプログラムでは、前半はフランス・パリを中心に活躍したフランクとドビュッシー、そして二人の影響を受けた武満徹、後半はベートーヴェンとシューベルトの転機にあたる、ウィーンで書かれた2つの傑作を演奏します。

フランクは主な作品をすべて晩年に残しましたが、このプレリウド、コラールとフーガは優れたオルガン奏者だったフランク独特の教会のオルガンの響きと深い感情が結合した大作です。同じく晩年の集大成ともいえるドビュッシーの前奏曲集から水、火や風の描写に五感が刺激される作品を選曲しました。そして、武満の独自の神秘的な色彩感や音と音の間の休息に魅了され10代のころから演奏してきた「雨の樹 素描」を、彼の敬愛する作曲家たちの作品と共にお届けしたいと思います。

後半はソナタ形式をもとに自由な構想を描く27歳のベートーヴェンのソナタ「悲愴」、シンフォニーの研究を積み重ねていた時期の25歳のシューベルトの「さすらい人」幻想曲、両作品からは人間の孤独感や内なる叫びがドラマチックに展開され、それぞれの葛藤が現れる傑作です。

この全く異なった二つの世界を、皆様に精一杯お伝えするのを心より楽しみにしています。

2021年8月 小菅 優



©Marco Borggreve



©Marco Borggreve

小菅 優 [ピアノ]

YU KOSUGE, Piano

高度なテクニックと美しい音色、若々しい感性と深い楽曲理解で最も注目を浴びている若手ピアニストの一人。2000年にドイツ最大の音楽評論誌「フォノ・フォルム」より、ショパンの練習曲全曲録音に5つ星が与えられた。

9歳より演奏活動を開始、2005年ニューヨークのカーネギーホールで、翌2006年には、ザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタルデビューを行い、大成功を収めた。

これまでにドミトリエフ、デュトワ、小澤、大植、ノリントン、オラモ等の指揮でベルリン響、フランクフルト放送響、シュトゥットガルト放送響、ハノーファー北ドイツ放送フィル、サンクトペテルブルク響、フィンランド放送響、最近ではノット指揮スミス・ロマンド管と共演。ザルツブルクをはじめラインガウ、シュレスヴィヒホルシュタイン等の国際音楽祭にも出演し着実に活躍の場を広げている。

2010年ザルツブルク音楽祭で、イーヴォ・ポゴレリッチの代役としてフィリップ・ヘレヴェッヘ指揮カメラータ・ザルツブルクと共演し、絶賛を博した。

2012年4～5月、紀尾井シンフォニエッタ(指揮:ティエリー・フィッシャー)のアメリカ・ツアーに参加、10～11月にはハンスイェルク・シェレンベルガー指揮カメラータ・ザルツブルクの日本ツアーに参加、モーツァルトのピアノ協奏曲第20番から第27番までの全8曲を共演し、高い評価を得た。2013年2月、服部讓二指揮ウィーン室内管弦楽団とモーツァルトのピアノ協奏曲第9番変ホ長調K.271「ジュノム」を共演、ウィーンデビュー。そしてロンドンのウイグモアホールでリサイタルを行いロンドンデビューを果たした。

2010年から15年にはベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会(全8回)を東京、大阪で行い各方面から絶賛を博した。さらに現在はソロだけでなく室内楽や歌曲伴奏を含む、ベートーヴェンのすべてのピアノ付き作品を徐々に取り上げる新企画「ベートーヴェン詣」に取り組んでいる。2017年から4年にわたり、4つの元素「水・火・風・大地」をテーマにしたリサイタル・シリーズ『Four Elements』を開催した。

録音はソニーから発売している「ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ集第5巻『極限』」を含む15枚のCDをはじめ数多い。

第13回新日鉄音楽賞、2004年アメリカ・ワシントン賞、第8回ホテルオークラ音楽賞、第17回出光音楽賞を受賞。2014年に第64回芸術選奨音楽部門 文部科学大臣新人賞、2017年に第48回サントリー音楽賞受賞。

小菅 優オフィシャルサイト <http://www.yu-kosuge.com/jp/>



Barocksaal
青山音楽記念館

お問い合わせ

☎075-393-0011

9:30~18:00 月・火 休館

〒615-8282

京都府京都市西京区松尾大利町9-1

<https://barocksaal.com>

